

第2回 10/5

「音楽に関する違法ダウンロードの実態と 日本レコード協会の対策について」

畑 陽一郎（はた・よういちろう）先生

一般社団法人日本レコード協会 理事

昭和 60 年 3 月 東京電機大学工学部電子工学科卒業

昭和 60 年 4 月 レーザーディスク株式会社 入社

（現 ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメント
ジャパン合同会社）

平成 9 年 2 月 社団法人日本レコード協会 入社

（現 一般社団法人日本レコード協会）技術部

平成 15 年 1 月 同 法務部課長

平成 20 年 1 月 同 情報・技術部部長兼法務部担当部長

平成 22 年 4 月 同 事務局次長兼管理部部長兼情報・
技術グループ長

平成 23 年 5 月 同 理事（法務・管理担当）（現在に至る）



参考：日本レコード協会HP <http://www.riaj.or.jp/>

〈講義概要〉

一般社団法人日本レコード協会の理事として日本の音楽文化の発展に尽力する畑陽一郎氏が、音楽に関する違法ダウンロードの実態と日本レコード協会の対策について講義を行った。

講義ではまず、日本レコード協会の概要や日本と世界の音楽ソフト市場、日本の音楽配信市場の現状について、詳細なデータを提示して分かりやすく説明した。その中で、音楽配信売上の低下は違法配信問題が甚大な影響を及ぼしていることは明白であるが、それと共に、ユーザーにとって更に魅力のある新たなビジネスモデルの構築も急務であると指摘し、デジタル時代への柔軟な対応が求められていることを示した。

さらに、デジタル技術の進歩に伴い深刻化する、音楽に関する違法の実態について様々な角度から説明し、音楽業界へ大きな影響を与えていることを訴えた。また、法制度や法的措置、技術的対策、広報・啓発活動など、違法な音楽配信の根絶のために多くの取り組みがなされていることを伝え、音楽を守るためにどうすれば違法行為をなくすことができるのか、学生に考えるきっかけを与えました。

《受講生の感想》

●ハッピーミュージックサイクルについて大変興味を持ちまして、音楽を購入することにより次の音楽の創造に繋がっているのも、マナーとルールを守る義務の責任感を感じました。違法ダウンロードをなくするためには、法律や規制だけでは足りないと思います。教育面も重要だと思います。人々の違法ダウンロードに対する認識を高め、自発的に違法ダウンロードを止めることを期待しています。

立命館大学・産業社会学部・2回生

●違法ダウンロードについて私たち音楽、動画を楽しむ側として知識が少ないと思います。デジタル化、ネット化が進む中、今後新たな違法サイトが出てくると思います。私たちがそのようなサイトを利用しないという意識が違法サイト撲滅、違法ダウンロードの減少に繋がるのではないかと私は思います。

立命館大学・産業社会学部・2回生

●これまで私はこうした違法アップロード、ダウンロードは技術的な防止措置によって対策していくしかないと考えてきましたが、レコード協会等の様々な取り組み（啓発活動）を知り、また今回のように実際に受けてみて、こうした訴えかけることの重要性を感じました。

同志社大学・社会学部・3回生

●違法ダウンロードについて詳しく学びたいと考えていたので、今回の講義は分かりやすく理解が深まった。違法な音楽配信やダウンロードをなくしていくために、法律の規制や人々の違法な行為だという意識の向上がより必要になってくると感じた。さらに、技術的対策、広報啓発活動もとても重要になってくると感じた。

立命館大学・法学部・3回生

●近年どのようにして音楽の著作権が侵されているのか、スマートフォンやインターネットの普及がどのように違法ダウンロードに関わっているのかがよくわかった。また、日本レコード協会の具体的な対策を初めて知った。畑先生が仰っていた通り、良い音楽が無くなってしまわないように、音楽を愛する者としてしっかり向き合っていくべき問題だと感じた。

立命館大学・産業社会学部・1回生

●今回のお話しの中で、最も興味を持った点はスマートフォンにおける違法ダウンロードの実態についてでした。今後スマートフォンにおける著作権については話を詰めていくとおっしゃっていましたが、早急に対応すべき問題だと感じます。いい音楽が聴きたければ、権利を守り、音楽を大切にすることが必要なのだと改めて思いました。

立命館大学・映像学部・4回生

